

## 太田市立商業高等学校 学校評価一覧表 (平成19年度版)

評価対象	羅 針 盤 評価項目	具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題
					総合		
・特色ある学校づくりに務めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	教育活動に満足している生徒が全体の70%以上を目指す。(教務部)	A	A	A	・資格取得の目標達成している生徒は62.4%であり、資格取得指導に対する満足度は81%である。 ・習熟度別授業:73%、コース別授業:82.3%の満足度であった。	・今後も生徒・保護者の満足度を上げるべく、わかりやすい授業を目指し、授業改善を重ねていく。
	2 特色ある学校行事を行っていますか。	太商百貨市に積極的に取り組んでいる生徒の割合が全体の70%以上を目指す。(百貨市部)	A	A	A	・太商百貨市について知っている・実際に利用したことがあるのを加えると、その結果は保護者の75.9%、中学生の72.4%である。更にアピールを行っていきたい。 ・百貨市について満足している生徒が74.3%である。今後もより意識付けをして意欲を持たせ、取り組むように指導を行う。	・売上額は昨年度をやや上まわったが、利用者数が昨年度より減っているため広告・宣伝関係に力を入れていく。
	3 生徒の主体的な学びができるよう工夫していますか。	学習活動に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が全体の70%以上を目指す。(教務部)	A	A	A	・学習活動に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が全体で84.3%である。 ・学習課題や宿題等の提出物は期日までに提出する生徒が41.3%遅れても提出する生徒が50.9%また、学習活動に積極的に取り組んでいる生徒が82.7%である。	・学習への生徒の主体的・積極的な取り組みが成果と結びつくよう工夫・改善に努めたい。
・生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	1 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	定期考査での成績不振者が全体の1%以下を目指す指導を行う。(教務部)	B	B	B	・一学期期末考査の時点で成績不振者が28名、3.3%と目標にとどかなかった。 ・二学期期末考査の時点で成績不振者が27名、3.2%と改善がみられなかった。	・夏季休業中から二学期にかけて徹底した指導を行い、成績不振者を15名以下に減らしたい。
		単位未修得者ゼロを目指す指導を行う。(教務部)	B	B	B	・成績不振生徒と保護者に対し担任、学年主任同席のもと成績連絡会を行った。学力回復をねらい夏季休業中の取り組みを指導した。 ・二学期終了時点で成績不振者が27名であった。	・今後は各教科担任に定期考査前に十分な指導を行なってもらうよう徹底を図り仮進級者ゼロを目指す。
		授業に集中し、宿題・課題などの提出物がきちんと提出できる生徒が全体の80%以上を目指す。(教務部)	A	A	A	・学習課題や宿題等の提出物は期日までに提出する生徒が41.3%提出しない生徒が7.8%である。遅れて提出と提出しない生徒を減らし、期日に提出の数を上げる指導に重点的に取り組む。 ・宿題や課題などの提出がきちんとできると自己評価している生徒が全体で93.7%である。	・宿題・課題などの提出物を遅れても提出するという生徒まで含めると提出率は9割を超える。今後は期日までに提出できるよう指導を加えていく。
	2 生徒は確かな学力を身につけていますか。	到達度に応じた目標を設定し、資格取得などの目標達成ができる生徒が全体の70%以上を目指す。(教務部)	B	B	B	・1回目の調査では、資格取得の目標達成している生徒は50.5%であった。 ・2回目では、資格取得の目標達成している生徒は62.4%である。1月、2月の検定試験を残しているため最終的には70%ラインは確保したい。	・70%の目標は厳しいが、近づけるよう次年度も継続的な取り組みをしていく。
・生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	1 組織的・継続的な指導を行っていますか。	学年会議を活用し、いじめ、不登校、問題行動等の生徒への早期対応をはかり退学者ゼロを目指す。(各学年)	B	B	B	・部活動内でのいじめが発生し対処にあたったが、未然に防ぐことはできなかった。集会等を開き再発防止の徹底を図った。 ・運営委員会の中に学年状況の報告を入れ毎週報告をしてもらうようになった。2学期始めには教頭による「いじめ」講話を実施。3学期早々保護者より知らせがあり、いじめの指導を行った。	・なかなか根絶の難しい問題であり、次年度も早期に情報把握を行い、早めの対応できる体制を作りたい。
		学校生活に積極的に取り組んでいる生徒が全体の80%以上を目指す。(生徒指導部)	A	A	A	・各学年目的意識に欠ける生徒が見られるので声をかけながら意欲を持たせる指導を行なう。 ・授業に積極的に取り組んでいる生徒が82.7%である。	・引き続き意欲を持って何事にも取り組めるよう指導を行なう。

評価対象	評価項目	具体的数値項目			総合	改善情況のまとめ	次年度の課題
・生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	2 生徒は規則正しい生活を送っていますか。	皆勤を奨励し、欠席率が1.0以内を目指す。 (生徒指導部)	A	A	A	・欠席は少ないが、遅刻をする生徒が見られるので余裕を持って登校するように指導する。 ・欠席・遅刻・早退をなくすように努力している生徒は94.2%であり、今後も皆勤を目指すように指導する。	・今後も継続した指導を行っていく。
		部活動に積極的に取り組んでいる生徒が全体の80%以上を目指す。(生徒指導部)	A	A	A	・特活推薦で入学した生徒が退部したいという傾向が見られてきたので、その意義を確認し、指導が必要である。 ・部活動に積極的に取り組んでいる生徒は80.4%である。	・部活動の加入率も87%であり、今後もこのような状態を維持しながら、部活動の充実が図れるよう指導する。
・生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	1 計画的な指導を行っていますか。	希望進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が全体の80%以上を目指す。 (進路指導部)	B	B	B	・1回目の調査では、進路実現に対して71.3%の生徒が積極的に取り組んでいる。1年63.7% 2年62.7% 3年87.6%であった。 ・2回目の調査では、進路実現に対して積極的に取り組んでいる生徒が73.5%と前回に比べ上昇した。	・1・2年生の取組を全校・学年集会や総合学習の時間を利用して強化する。
		生徒の将来の進路希望について理解している保護者が全体の80%以上を目指す。 (進路指導部)	A	A	A	・1回目の調査では、85.6%の保護者が、子どもの進路希望を理解している。 ・2回目の調査では、全体としては3.8ポイント上昇し89.4%の保護者が子どもの進路希望を理解している。	・取組としては良好である。
	2 適切な進路情報を提供していますか。	進路通信を年間12回発行する。 (進路指導部)	B	B	B	・適切な進路情報の提供に努めているが、活用法に格差が生じている。 ・適切な進路情報の提供に努めているが、広報を毎月発行することができなかった。	・1、2年のうちから進路意識を持たせるため、進路資料室の積極的な利用をさせたい。
		学校からの進路情報を目にしている保護者が全体の70%以上を目指す。 (進路指導部)	B	B	B	・第1回目の調査では、学校からの情報に対して、学年が上がるにつれて、関心が高まっている。1年65.1% 2年56.8% 3年71.1% 全体64.5%の保護者が進路情報を目にしている。 ・第2回目の調査では、0.5ポイント上昇し全体で65.0%の保護者が進路情報を目にしている。	・目標値は厳しい数値であるが、次年度も更なる啓蒙活動が必要である。
・環境に配慮した環境教育に務めていますか。	1 学校ISO14001認証を受け継続した活動を行っていますか。	校内のエコ活動で、電気・水道・用紙の使用量及びゴミの排出量を昨年実績より1%減を目指す。 (ISO推進委員会)	A	A	A	・エコ活動により、電気・水道・用紙の使用量及びゴミの排出量のすべての目標値を下回ることができた。	・今後も取り組みを継続していく。
		環境教育を理解し、実践できる生徒が全体の70%以上を目指す。 (ISO推進委員会)	A	A	A	・第1回目のアンケートによれば、ISO活動に取り組んでいる生徒が70%を越えた。 ・第2回目のアンケートによればISO活動に取り組んでいる生徒が78.3%と4ポイント向上した。	・今後も取り組みを継続していく。
		学校ISOについて、保護者の理解度が全体の70%以上を目指す。 (ISO推進委員会)	B	A	B	・第1回目のアンケートによると62%の理解度である。 ・第2回目のアンケートでは保護者の理解度も68.6%と7.3ポイント向上した。	・今後も地道な取り組みを継続していく。

評価対象	評価項目	具体的数値項目			総合	改善情況のまとめ	次年度の課題
開かれた学校づくりに務めていますか。	1 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	学校の教育活動を家庭や地域の関係者に理解してもらうために年3回説明会等を実施する。 (教務部)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月には保護者に向けた公開授業を実施。200名の保護者の参加を得た。</li> <li>8月には中学生に向けた学校説明会を実施した。中学校教諭:4名、保護者:164名、中学生:638名、合計:806名の参加を得た。概ね好評に終わった。</li> <li>9/8(土)オープンスクールを実施した。</li> <li>中学校の先生方を対象に太田地区の高校説明会に参加、76校の先生方に説明をおこなった。</li> <li>市内・近隣の中学校22校に訪問し本校の説明をおこなった。</li> <li>中学校の総合学習として2校を受入れ、1校の出前授業を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育活動を理解していただくためには、今後も必要なことである。また、広報活動強化の一環としても重要な位置付けにあるので力を入れていきたい。</li> </ul>
		Web ページの内容を分かりやすく工夫し、毎月更新する。 (教務部)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web ページを閲覧した人から「学校の様子がわかる」と65%の方から評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もっと評価が上がるようにタイムリーな情報を提供をしていく。</li> </ul>
		P T A 総会、地区別懇談会、進路講演などに保護者の参加率が全体の80%以上を目指す。 (渉外部)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 総会、地区懇談会、学年保護者会のいずれかに参加した割合が80%を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区懇談会の参加率が年々低下しているので、次年度は学校にて1回程度で統一を図りたい。</li> </ul>
		P T A 広報を学期ごと年3回発行する。 (渉外部)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業前に1回目を発行した。第1回目のアンケートでは80%弱の家庭で読まれている。</li> <li>冬季休業前に2回目を発行し、90%弱の家庭で読まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の卒業式に合わせて3回目を発行予定。時々のタイムリーな内容を報告・提供していく。</li> </ul>
	2 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年5回実施する。 (生徒指導部)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室の中に雨合羽推進にともない、カサさし運転の危険性を分からせるものを取り入れ指導した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、それぞれの時期に必要な講演をタイミングを捉え実施していく。</li> </ul>
		関東学園大学と連携し、大学の講義を生徒が聴講する。 また、中心市街地の活性化に向けて、チャレンジショップの経営活動に取り組む。 (商業科)	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の講義を受講することで、経営に関する専門的な知識や理解が深まるようになってきた。</li> <li>チャレンジショップの取り組みも3年目を迎え、地域に根ざした営業活動を行い、近隣の住民からも大きな支持を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にとってはとても意義のあることなので、今後も可能な限り、継続をお願いしていく。</li> </ul>